



写真左から山谷朱嶺さん、金野日南さん、小杉山遥月さん、森田実里さん

## 全道中学校かべ新聞コンクール 標茶中学校3年生制作「<sup>むこう</sup>夢煌」が大賞受賞

標茶中学校3年生の森田実里さん、小杉山遥月さん、金野日南さん、山谷朱嶺さんが制作したかべ新聞「夢煌」が、第15回全道中学校かべ新聞コンクールにて、3年生の部大賞に選ばれました。

夢煌は自分たちにとって身近な「標茶町」をテーマに、運営見直しの話が浮上しているJR釧網線の協議の行方や人口減少などの問題、「なぜ標茶町に道の駅が無いのか」「なぜ毎年多くの実業団が標茶町で合宿するのか」など、日常で気になる疑問についての記事を取り上げられています。

4人はかべ新聞を制作するため、役場や駅などの関係者へ取材を行い、生徒全員へアンケート調査を実施し、その結果から感じたことなどを記事にしました。かべ新聞は全て手書きで作られ、レイアウトも読みやすいように落ち着いた色でまとめるなど、工夫されています。制作にあたり、小杉山さんは「部活が忙しくて、編集会議になかなかメンバーが集まらず、思うように進まなくて苦労しました」、山谷さんは「調査や取材を通

し、人口減少の深刻さをあらためて知ることができました。また、問題に向き合い自分たちで解決策を考えたことで、視野を広げることができ、自分たちにとってプラスになりました」と話してくれました。

制作された新聞は、中学校かべ新聞コンクール道東大会で最優秀賞を受賞し、全道中学校かべ新聞コンクールでは応募総数180点の中から厳しい審査を通過し、見事大賞に選ばれました。

大賞を受賞したことについて、金野さんは「多くの方の協力により大賞という素晴らしい評価をいただくことができました。このかべ新聞を制作したことで標茶町の魅力を再確認することができました」、森田さんは「記事を作るため取材やアンケートをとるなど多くの方に協力を得ながら作成しました。ぜひ多くの方に読んで欲しいです」と笑顔で答えてくれました。

制作されたかべ新聞は今後、中学校や役場、開発センター、図書館での展示が予定されています。

# 夢煌

## 中茶標 第三学年



# どうなる釧網線

## 「地域の足」の未来は

### 廃止か？

### 存続か？



# 協議の行方に注目

【本紙記者取材】釧路市と網走市が、釧網線（釧路～網走）の廃止問題について協議を進めている。協議の行方に注目が集まっている。

釧路市は、釧網線の廃止を主張している。理由は、路線が赤字で、維持費がかかりすぎるからだ。また、バスやタクシーで代替できる区間が多いと見ている。

一方、網走市は、釧網線の存続を主張している。理由は、釧網線が地域の足として重要な役割を果たしているからだ。また、観光客の利便性も確保したいとしている。

両市は、協議を進めながら、最終的な決断を下す予定だ。協議の結果によっては、一部の区間を廃止し、一部の区間を存続させるという案も出てきている。



### JRの方針

JR北海道は、釧網線の廃止を主張している。理由は、路線が赤字で、維持費がかかりすぎるからだ。また、バスやタクシーで代替できる区間が多いと見ている。

### STOP人口減少

人口減少が深刻化している。若者の人口は減少し、高齢者の人口は増加している。このままでは、地域の活性化が難しくなる。人口減少を止めるための対策が必要だ。

# 主張

## 義足の見方

義足の重要性が再認識されている。義足は、足の障害がある人々の生活を支える重要な道具だ。最新の義足は、見た目も自然で、機能も高い。これにより、障害のある人々の社会参加が促進されている。

しかし、義足の普及にはまだ課題がある。例えば、高価な義足は貧困層には手が届かない。また、義足の修理やメンテナンスにも費用がかかる。政府や民間企業が協力して、低価格で高品質な義足を提供できるようにしてほしい。

# バス会社は

バス会社は、釧網線の廃止を主張している。理由は、路線が赤字で、維持費がかかりすぎるからだ。また、バスは、釧網線よりも柔軟なルート設定が可能で、需要に応じた運行ができる。バスを充実させることで、地域の足を守ることができる。

# ハイヤーは

ハイヤーは、釧網線の廃止を主張している。理由は、ハイヤーは、釧網線よりも柔軟なルート設定が可能で、需要に応じた運行ができる。ハイヤーを充実させることで、地域の足を守ることができる。

# 住みよい街に

住みよい街になるためには、人口を増やす必要がある。人口が増えれば、地域の活性化も進む。人口を増やすためには、子育て支援や働きやすい環境の整備が重要だ。また、移住者を受け入れるための施策も必要だ。

# CONGRATULATIONS!! 標茶高校 全道準V

標茶高校の女子バスケットボール部が、全道大会で準優勝を果たした。この結果は、チームの成長と選手たちの努力の結晶だ。監督は、選手たちの活躍を称賛し、今後のさらなる成長を期待している。

全道大会は、多くの強豪校が集まり、激しい戦いが繰り広げられた。標茶高校は、最後まで諦めず、最後まで戦った。この経験は、選手たちの成長に大きく貢献したと見られる。

# 町おこしの起爆剤

町おこしの起爆剤として、新しい取り組みが注目されている。例えば、地元産品の販売促進や、観光客の誘致などが挙げられる。また、地域の魅力を発信するための取り組みも重要だ。

# 標茶町にも「道の駅」を！

標茶町にも「道の駅」を建設してほしい。道の駅は、地域の魅力を発信し、観光客を誘致する重要な施設だ。また、地元産品の販売促進にも役立つ。標茶町は、道の駅を建設することで、地域の活性化を促進してほしい。

## 宿たたかう力を 合身に付ける町

町民の力を結集し、町おこしに取り組む。町民一人ひとりが、町おこしに貢献できるようにしてほしい。例えば、ボランティア活動や、町おこし委員会の活動などが挙げられる。町民の力を結集することで、町おこしは成功する。